



拝啓 幸和し好時節即  
 蒼西清福こころあまき敬  
 かきし知祝内閣の愈よ  
 成る初め国民をこころ  
 安堵せしむるにたりたるは  
 国家の為らたは又至極  
 に至る此度の非常  
 う取決心とるは出で唐皇に  
 相成り関負も腕持との  
 評判え一服の人心大に  
 期待致する様有り



評判を一般の人心大に

期待致する様有り

の者自然一方のりき

西配憲と遊りて

象中作り古名人

慶吉縣より二名の大臣

出たるを誇りて頻

新由閣を歓迎し

下向祝意を陳

しきあり自然

肩より廣き抱

笑ふも財政の根本

的整理の主力を致

する事、希世の

焼點あり

切、期待



慶吉縣より二君の大臣  
出でたるを誇りしと頻

新由閣を歓迎し半

下向し祝意を陳言

此方より有り自然

肩身の廣き抱合

笑ふは財政の根本

的整理の主力を致

きし事、希世の

燒點、ありしは

切し期待候

右は祝詞の意なり

甲子年

以下は敬具

富田之助

大隈伯爵爵  
関人



別申此度先母の死  
去りしに就て特にお母方  
喜ぶに似て鄭重の心  
借物と賜けり 程有  
感泣けり 平生他  
康にありし時も 恥證直  
に罹りたる程の工に事  
に及り 殊に心あり 唯  
右方面より 存子と在 同  
情と蒙りたるは死者  
克栄と深く 感銘せし

富山 柳井





東京牛込区早稲田

大隈重信殿

少左殿

十二

十一

九





喜



名古屋市

上遠野宮之助

十一  
五